

《平成31年度》当初予算の

主な事業をお知らせします

重点施策 事業等

1

くしま 創生会議事業

102万7千円

「くしま創生若者未来会議」および「くしま創生市民会議」を行い、市民の視点に立った政策立案を行う。

2

SIT プロジェクト

73万1千円

持続可能な地域社会を構築するため、産業を一つのツーリズムと捉え、交流人口の増加を図る。
※SIT(サスティナブル・ツーリズム)

新

3

自家消費型新 エネルギー導入 促進事業

100万円

太陽光と蓄電池をセットで設置し、自家消費として利用する者に対し補助を行い、設置者の増加を図る。

新

4

地方創生 マーケティング 事業

700万円

市内の経済構造や動向等を把握し、数字に基づいた実効性の高い事業を立案するために必要な産業連関表を外部委託により作成する。

新

5

コンビニ交付 サービス事業 臨時的経費

2,928万8千円

住民の利便性の向上に資するため、コンビニ交付サービスを導入し、窓口業務の改善および住民のニーズに合ったサービスを提供する。

新

6

子ども医療費 助成事業

6,363万5千円

出生から中学校卒業までの医療費の全額を助成する(ただし、食事代、保険診療外のものを除く)。

7

保育対策 総合支援事業

303万5千円

保育士の業務負担軽減を図るため、保育に関する計画・記録等の業務のICT化を行うシステム導入費用および睡眠中等の事故防止のために活用できる備品購入費用の一部補助を行う。

8

おたふくかぜ 予防接種 助成事業

49万4千円

感染のまん延予防、重症化予防のため、おたふくかぜ予防接種の接種費用を助成し、接種を促す。

新

9

食用かんしょ 産地維持 緊急対策事業

318万3千円

食用かんしょ産地の維持・強化のため、農業用ドローンを活用した防除体制の構築を図る。また、新たに発生した病原菌対策として、課題解決に向けた各種実証試験に取り組む。

新

10

農業に やさしいまち 事業

465万1千円

第一次産業の後継者不足対策として、地域おこし協力隊の制度を活用し、農業に関心があり農業経営を行いたい人を募集し、定住、新規就農を促進する。

新

11

くしま型畜産 生産力向上 支援事業

300万円

空き畜舎等の活用や畜舎の有効活用を促進するとともに、ICT技術の活用により収入源となる子牛を確実に分娩させ、本市の更なる畜産業の発展につなげる。

新

12

水産業 強化支援事業

1億545万2千円

ブリ類の海外向け出荷が伸びており、生産量を拡大するため、新たに養殖生簀の係留施設に対して補助を行う。

新

13

臨時的経費／ 串間温泉いこいの里 管理運営費

8,537万6千円

地域コミュニティ(公民館・支所)機能の移転および施設のリニューアルに係る改修費用。

14

高松キャンプ公園 整備事業

4,850万6千円

高松漁村広場をキャンプ公園として整備するため、オートキャンプサイトや管理棟等の整備を行う。

15

東九州自動車道 整備促進事業

257万8千円

串間市区間の早期事業化と東九州自動車道のミッシングリンク解消に向けて、関係機関および沿線市町との連携強化を図る。

16

串間市 中心市街地 まちづくり事業

6億1,302万4千円

「道の駅」エリア用地取得の早期完了を図り、造成工事に着手する。また、旧吉松家住宅周辺整備については、路面改修、市民広場整備を行う。

新

17

きらり! 福高ロード アドバンス プロジェクト事業

385万円

福島高校における就職・進学に必要なとされる課題解決能力、現実社会対応能力の育成に向けて、海外研修や人材育成などを行い、地域創生学の学びの過程と学びの環境の充実を図る。

新

18

個に応じた きめ細やかな指導の 充実を図る事業 (小学校)

902万4千円

小学校において全学年で35人以内での学級編成の実施を導入するために、常勤講師を2名雇用し、35人学級編成に必要な教職員を確保する。

新

19

個に応じた きめ細やかな指導の 充実を図る事業 (中学校)

475万8千円

串間中学校において全学年で35人以内での学級編成の実施を導入するために、常勤講師を1名雇用し、35人学級編成に必要な教職員を確保する。

一般会計歳入予算

[自主財源と依存財源]

●自主財源

30億5,417万3千円(23.7%)

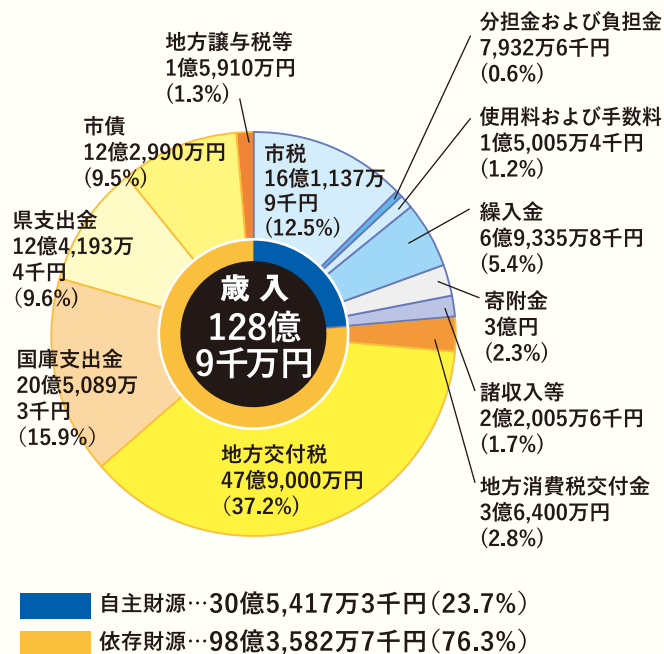
自主財源は、市税(住民税・固定資産税など)や使用料、手数料などの地方自治体が自主的に収入しうる財源をいい、自主財源の割合が高いほど、財政が安定しているといえます。

●依存財源

98億3,582万7千円(76.3%)

依存財源は、地方自治体の収入の格差を少なくするために交付される地方交付税や国・県補助金などの財源をいいます。

以上から、串間市においては、依存財源の割合が76.3%であるため、国・県に頼った財源構造となっています。



一般会計歳出予算

[義務的経費と投資的経費]

●義務的経費

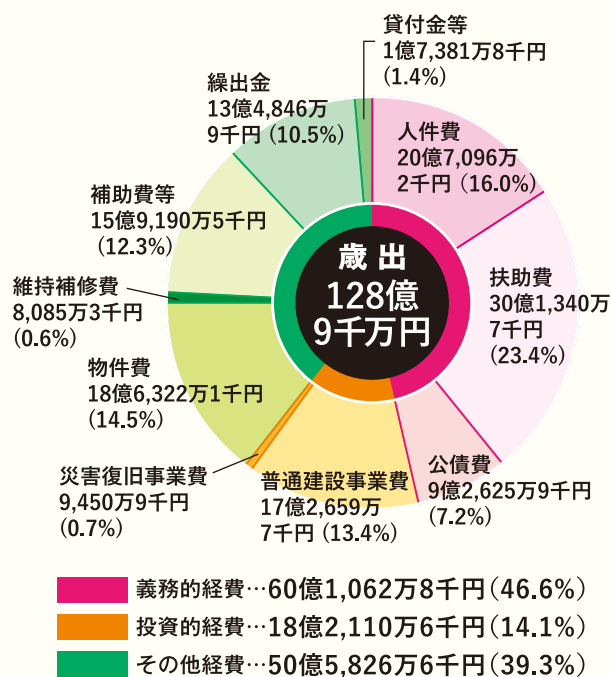
60億1,062万8千円(46.6%)

義務的経費は、人件費(職員給与など)や扶助費(児童扶養手当・生活保護費など)、公債費(借金の返済)といった支出することが制度的に義務付けられている経費をいいます。

●投資的経費

18億2,110万6千円(14.1%)

投資的経費は、道路などインフラ整備や公共施設の新増設などに要する経費をいいます。



《平成31年度当初予算の内訳》(会計別) (単位:千円、%、△は減)

会 計 名		平成31年度 当初予算(A)	平成30年度 当初予算(B)	伸 率 (A)-(B)/(B)
一般会計		12,890,000	12,600,000	2.3
特 別 会 計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	3,090,122	2,905,998	6.3
	後期高齢者医療特別会計	645,119	654,312	△ 1.4
	農業集落排水事業特別会計	39,678	46,128	△ 14.0
	公共下水道事業特別会計	105,270	106,423	△ 1.1
	漁業集落排水事業特別会計	2,489	2,111	17.9
	物品特別会計	0	74,480	皆減
	介護保険特別会計(事業勘定)	2,592,421	2,609,607	△ 0.7
計	市木診療所特別会計	60,876	56,830	7.1
	小 計	6,535,975	6,455,889	1.2
病院事業会計(収益の支出および資本的支出)		2,177,329	2,179,532	△ 0.1
水道事業会計(収益の支出および資本的支出)		875,971	796,938	9.9
合 計		22,479,275	22,032,359	2.0